

## ◆【御船印めぐりの旅】

### 「かなや丸」野島埼灯台と鋸山 - 東京湾フェリー株式会社 -

東京湾を横断し金谷港（千葉県）と久里浜港（神奈川県）を結ぶ東京湾フェリー。「かなや丸」に乗船し、久里浜港から40分で金谷港に到着。港から徒歩でも近い「鋸山ロープウェー」山麓駅でロープウェーに乗り、山頂駅までは4分間。目的の鋸山・山頂展望台からは、雄大な東京湾を眺め、千葉県最南端の野島埼灯台の海岸を歩いた

#### -鋸山・日本寺-

鋸山の山頂展望台からは、隣接する鋸山・日本寺を散策することができる。33万平方メートルもある広い境内は千葉県指定の名勝となっており、全てを散策するには2日を要すると言われている広さ。この日本寺は今から約1300年前、高僧行基菩薩によって開かれた関東最古の勅願所で、徳川三代将軍家光公が治世の時に、曹洞禅宗となり、慈覚大師・弘法大師などの名僧が訪れ修行した古道場でもあるとか。

はじめに大仏広場に向かってみると、途中には維摩窟、日牌堂、百鉢観音が並ぶ千五百羅漢道があり、厳かな雰囲気にも包まれている。

この東海千五百羅漢は、高雅愚伝禅師の発願で、名工・大野甚五郎英令が1779年から21年間かけて門弟27人とともに、1553体の石仏を刻み奉ったもの。鋸山は羅漢霊場としても知られている。

また、大仏広場に到着すると、目の前に高さが31メートルもある巨大な大仏さまが現われた。ガイドブックには石大仏とも表記され、有名な奈良・東大寺の大仏さまが18メートル、鎌倉・高德院の大仏さまが13メートルなので、31メートルの大きさは迫力がある。「大魔神」という映画の主人公、大魔神に遭遇してしまったような気持ちになりました。

高所恐怖症の人にはオススメできないが、「地獄のぞき」が目当ての人も多い。名勝鋸山は、学術的な面でも貴重な存在で、山中の地質や動植物を研究する上で、「自然の大博物館」として注目されている。

#### -野島埼灯台-〈大きな石の物語〉

人類は太古より巨石に対し「永遠性」「超越性」「不動性」を感じ崇拝してきました。かつて歴史上に出現した文明の中心には必ず巨石の造形物が存在しています。

この最南端の石は28トンもの重さがあり、昔ながらのコロを使った方法でこの場所まで3日間かけて運ばれました。エジプトのクフ王のピラミッドの平均的な石と同じくらいの大きさで、ピラミッドは230万個使用して建設されました。石と自然との調和が図られ、磨きあげられた曲面に映し出される周囲の景色は白亜の灯台を映しだします。

輝く満天の夜空の星を映し出す様子は、悠久の時の流れを象徴する美しさと黒色から放出される神秘的エネルギーを感じさせてくれます。近代文明の中、遥か南アフリカからこの地に運ばれた巨石は、人類と巨石文化の関係を物語ってくれることでしょう。

◇◇◇◇◇◇◇◇ 一般社団法人日本旅客船協会の公認事業「御船印めぐりプロジェクト」 ◇◇◇◇◇◇◇◇  
参加会社の船や航路ごとに発行するさまざまな御船印を集めることができます。

御船印とは、神社仏閣めぐりで集められる御朱印の船バージョンで、日本各地の船をめぐる船旅の楽しみをさらに盛り上げるため、プロジェクトに参加する船会社のオリジナルの御船印帳・御船印紙を購入し、旅客船、観光船などに乗船した際、船旅の思い出を彩る記念の押印（スタンプ）をいただくもの